# 広報 妻籍宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和5年2月20日発行

No.145



(第55回文化文政風俗絵巻之行列)

第55回文化文政風俗絵巻之行列が、規模を縮小して3年ぶりに開催されました。

写真は、妻籠町並み交流センター(旧妻籠小学校跡地に新築)の前で出演者全員での記念撮影。今回はコロナの影響がまだ残る中での開催のため、出演者は町内を中心とした郡内在住者の方に限定させていただき、マスク着用で歩いていただきました。道順も、町並み交流センター出発、恋野経由、尾又の三叉路が終点というものでしたが、久しぶりの開催に冷たい雨もなんのその、皆さん張り切って歩いてくださいました。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。次回は、他地域の方々も参加 いただけるようになると良いですね。

小笠原 美雪

# 1月26日は文化財防火デー

# 総務委員長 今 井 啓 文

1月26日は、昭和24年に奈良の法隆寺の金堂が延焼して壁画が焼損した事が起源となり、昭和30年より文化財防火デーとして、全国的な活動となっております。妻籠宿においても、毎年様々な消火訓練を行って参りました。昨年はコロナの関係で中止となりました。今年も決して安心出来る訳ではありませんが、感染対策をし、実施する事が出来ました。

昨今は気候変動のせいか、毎年どこかで大きな災害に見舞われています。被害にあった住民の方の話を聞いていると、「こんな事は初めてだ」とか、「まさかこんな所で」という様な感想が寄せられています。幸い妻籠宿においては、近年は大きな被害もなく過ぎておりますが、決して安心していられる様な環境ではありません。地区において高齢化も進み、自らの身を守る事も大変だと思います。しかしながら、妻籠宿においては、観光で来てくださったお客様を守る事も大きな責任です。本来は防火訓練なのですが、その様な事も含め今回は、地震など災害時における避難について、木曽消防署南分署の谷口さんによる講話をお願いいたしました。

当日は、雪の舞う寒い日になりました。内容は、地震時における備えや対応、観光客(特に言葉の通じない外国人の方)への対応を中心に、映像を交え、お話いただきました。印象に残ったのは、自然相手の災害に人の力では太刀打ち出来ませんが、家具の固定や備蓄品の準備、避難経路の確認、また、火災に備え、消火器の点検など、事前準備の大切さを思う所でした。大きな災害がない事を願いつつ。

本年も木曽消防署南分署の皆様、消防団の皆様にお礼申し上げます。





#### 【木曽谷新春狼煙あげ参加人数まとめ】

· 南木曽町: 妻籠城址、大妻籠、馬籠峠、 愛宕山城址(三留野)、梛野、十二兼

6か所 52名

・大桑村:和村下、弓矢、殿中 3か所 38名・上松町:上松小学校 1か所 12名・木曽町:宮ノ越 1か所 14名

・木祖村:水の始発駅公園、菅きさらぎ公園

2か所 64名

・塩尻市:奈良井丸山公園 1か所 7名

〈合計〉 14か所 187名



〈木祖村:水の始発駅公園〉

#### 今年も小正月の飾りつけをしました!





#### 下町 磯 村 琢 弥

今回は城山茶屋から渡島への道を紹介しようと思 うのですが、現地へ赴くと道がありません。それで も地図どおり谷に降りてみようと、公衆トイレ後ろ から恐る恐る谷底に向かいます。それなりに歩けた のですが、激しく崩れ落ちている所があり、足を乗 せた石が落ちたら大怪我してしまいそうなので、渡 島側から上ることにしました。

渡島信号上のカーブの土地に、城山側とお墓の前 にそれぞれ道があり、奥で一本に繋がります。この 二本の道は後ろの国道を渡ると歩道のガードレール が切ってあり、バス通りに出る前に民家の前で一本 になって発電所へ向かいます。さて城山茶屋へ上ろ うと、道がはっきりとしているお墓前のほうの道を 歩きます。少し行くと砂防提があります。その先ぐ らいで沢を渡り右側を上ることになっていますが、 これ以上は辿れません。ここで突然、横からウサギ が飛び出してきて崩れた沢を登って行きましたが、 私は危なそうなので止めておきました。よくよく考 えてみれば小学生時代、この近くに住んでいた同級 生と遊ぶのに、この道を使った覚えがないので、昭 和50年代にはもう埋まっていたのかもしれませ ん。



〈ここから城山茶屋へ向かう〉

ということでこの道は紹介できなかったので、長 坂住宅横の道を紹介します。砂防提横から道になっ ていない左の竹藪の中を突破していくと、竹藪の中 にはくさびを使って割った四角い石が結構な数散在 しています。竹藪を抜けると、蛇石から南木曽会館 へ続く道に出ます。この道は、南木曽会館上の国道 をくぐる、車一台がやっと通れる幅のトンネルの壁 の裏から始まり、長坂と軽便道が合流する手前のお 墓横まで地図に載っています。改めて地図を見てみ ると、渡島の農地の中にたくさんの道が残っていま す。こういう農道のほうが、崩れるたびにつけ替え た馬籠までの中山道よりよっぽど古い道かもしれま せん。



(国道を渡って右の 道







〈長坂上から国道へ向かう道〉

次回は鯉岩の横の道を紹介します。この道は上で 向きを変えて枡形に出るとても長い道です。楽しみ にしていてください。

# 3年ぶりに文化文政風俗絵巻之行列開催

# 『雨にも負けず 宿場に響く鉦太鼓 笑顔あふれる 行列ここに』

#### 木曽地域振興局商工観光課長 安藤哲 也

木曽在任中にぜひ経験したいと思っていたことの一つがこの「文化文政風俗絵巻之行列」。 心待ちにしていたこの行列に参加できる日がやっと訪れました。 妻籠の保存事業をきっかけに始まったというこのお祭り、宿場風情を地域を挙げて保存し、全国、いや全世界の観光客に「一度は訪れてみたい」と思わせる妻籠宿になくてはならない華です。 あいにくの天候でしたが、待ちわびていた私にとってはそれも興の一つ、男旅役として行列を楽しみました。

(公財)妻籠を愛する会の皆様をはじめ、運営に 奔走した関係者、沿道で迎えてくださった地域の 方々、どうも有難うございました。晴れて開催に当 たり、3年ぶり、新型コロナの感染状況に気を配り ながらの準備は各方面に気を配りつつご苦労も多々 あったことと思います。当日の皆様の顔は輝いてい ました。笑顔に満ちた裏方さんの顔は「妻籠は生き てるぞ!」と、天気とは裏腹に晴れ晴れとした心意 気、誇り、そんな気持ちがひしひしと伝わってきま した。開催を決断していただき感謝申し上げます。 一緒に参加した役者の感想を添えます。

☆初めての参加でしたが着物を着て妻籠宿を歩けて 楽しかったです。想像していたより観客がたくさ んいて、立派なカメラを構えた人や外国人観光客 も多く、この行列を楽しみにしていた人が大勢い たことが実感できました。

☆昨年1年間南木曽町でお世話になっていたのですが、残念ながら行列は中止だったので、今年1年越しに参加が叶い本当に嬉しい思いでした。あいにくの雨ではありましたが、これはこれで忘れられない思い出になりました。

☆娘旅に扮し中山道を歩いていると、まるで自分が 文化文政時代にタイムスリップしたような気持 ちになりました。あいにくの雨でしたが、それも また妻籠の雰囲気を引き立てていたように感じ ます。来年も参加したいです。

一同、今日のことは忘れられない良い思い出になります。有難うございました。













# 第55回文化文政風俗絵巻之行列に参加して

#### 南木曽小学校 林 久寿

私は、南木曽小学校に赴任して4年目になります。 「文化文政風俗絵巻之行列」が3年ぶりに開催されるとお聞きし、またとない機会と思い、参加させていただきました。同じ小学校に勤務する同僚たちとも声を掛け合い、7名が参加しました。

はじめは、旅人という役をいただいておりましたが、縁あって「旗持ち」をさせていただけることとなりました。大役で行列の先頭を歩くということで、とても緊張をしました。

朝から雨が降り、風が吹いていました。行列を作り歩き始めると、私の前には太鼓などの演奏をしながら先導をしてくれる妻籠陣屋太鼓の方々、瓦版を配る方々がいました。そして私の後ろには袴姿のお侍の方々でした。途中で、木曽馬に乗ったきれいな花嫁姿の女性も加わり、雨の中でしたが、多くの見物客の方々に見守られる中、盛大な行列となりました。

れ、風によって煽られることによって数倍重く感じました。 緊張こそしていましたが、とても気持ちの良い時間でした。山々から雲が登る景色、澄んだ空気、 木造の家屋、見物客からの声援。歩いているうち に、心の中がスッキリと晴れていくような気がしま

旗は3mほどの長さで、持つだけであれば重い

というわけではありませんでした。しかし、雨で濡

した。 気がつくと、妻籠宿の端に到着していました。一時間半ほどかけてゆっくりと歩いた時間は、あっという間でしたが、もっと歩いていたいと強く思うほど充実していました。

このような貴重な経験をさせていただいたことに、 とても感謝しております。関係された全ての皆様に 御礼申し上げます。ありがとうございました。













# もう一つの文化文政風俗絵巻之行列

# 『第55回 文化文政風俗絵巻之行列に 参加して』

#### 読書 矢澤 純子

まず、このような歴史ある伝統行事に参加させて いただけた事に感謝申し上げます。

当日、着物の着付けをお手伝いさせていただき、 とても貴重な経験をする事ができました。短時間で 手早く着付ける事の難しさや、江戸時代の人々の様 子をできる限り忠実に守る事の大切さも学びまし た。同時に、自分の技術の未熟さから次回への課題 が見えた時間でもありました。

数年前、娘と一緒に行列に参加させていただいた事があります。その時は準備してくださった着物を順番に着せてもらい、中山道を歩きました。楽しくて充実した時間を過ごすことができ、素敵な想い出です。機会があればまた歩きたいと思いました。

今回、少しではありますが、関わらせていだだいた事により、運営の皆さんによる幾度もの事前準備や着付け練習、最後の片付けまでの大変さを知り、多くの方のご尽力により開催されているという事を改めて実感致しました。

微力ではありますが、ぜひ今後もこの伝統行事に 携わらせていただけますと幸いに存じます。

ありがとうございました。

# 『裏方さんはスゴイ』

# 下町 小笠原美雪

ここ数年、風俗行列では衣装部の着付応援として 参加しています。今回は仕事の休みが上手く重なり、 着付練習会や片付け作業にも出席できました。

今回は雨降りの中(私の経験上、初)の開催。脱いだ後の衣装や小道具の「その後」が大変でした。水を吸って重くなった衣装を事務局メンバーが必死で木犀庵へ運んで下さり、係のメンバーで選別。絹の着物はジャバジャバ洗うわけにいきません。手に負えない物はクリーニング、差ほどでない物はメンバーで持ち帰り、その日のうちにアイロンがけをして縮まないようにお手入れ。脚絆や手甲も分担して洗濯、アイロンがけ。もちろん、ほつれや破れたところも繕います。そうやってきれいになった衣装が12月6日に再び木犀庵に集められ、今度は種類別、サイズ別に分けられて収納されました。その作業をしながら足りなくなっている物を確認し、来年の行列までにやるべきことを話し合う。

ここまでやって、衣装部の「行列」は終了です。 大変ですがやりがいがあって楽しい! 衣装部の皆さ んは着物について物知りで勉強になります。そして、 今年は妻籠で着付体験をやっている町内の方々(若い女性3名!)が手伝ってくださいました。裏方に参加していただけるなんて感謝です。このイベントを続けていくためには若者の裏方参加が重要ポイントだと思います。私はその年齢枠からはみ出していますが、次の世代へのつなぎ役としてしっかり覚えて伝えていきたいと思います。

#### 【お願い】

男物の襦袢が不足しています。着なくなった物が 箪笥に眠っているようでしたら「妻籠を愛する会」 へご一報くださいませ!



[衣装整理]





[木戸の組み立ては実行委員と地元の若者が参加]

# 宿 場 暦 11月2日:撮影許可審議委員会 6日:開田高原景観まちづくり(理事長) 7日:衣装部着付練習 8日:町政報告会(妻籠町並み交流センター) 9日:衣装部着付練習、一石栃立場茶屋薪運 び作業、撮影許可審議委員会 10日:木曽観光連盟撮影 11日:行列衣装準備(衣装部会) 12日:観光庁撮影(~13日) 14日: 行列幟旗立て、行列衣装準備・着付練習 (衣装部会) 15日:國學院大學「観光まちづくりフォーラ ム」(東京・理事長) 16日: 行列衣装運びだし、第55回文化文政 風俗絵巻之行列第3回実行委員会 17日:(株)CCPR撮影 20日:広報「妻籠宿」144号発行 21日:統制委員会、行列木戸組立 22日:撮影許可審議委員会 23日:第55回文化文政風俗絵巻之行列、 愛会活動報告:羽貝教室 (交流センター) 24日:フェロールーム(株)撮影 26日:国際シンポジウム (東京経済大・理事長) 30日: 氷雪の灯まつり実行委員会 (南木曽会館・常務) 12月3日:日本ナショナル・トラスト全国大会 (東京・理事長) 4日:文化体験講座講師 (妻籠町並み交流センター・理事長) 5日:三役会 6日:行列衣装整理(衣装部会) 7日:行列反省会、理事会、(株)フィールド デザイン撮影(~8日) 10日:衣装部会 12日:妻籠宿案内人の会役員会、妻籠地域 振興協議会役員会 (理事長) 13日:妻籠観光協会三役会(常務) 16日:第5回史跡中山道保存活用計画策定 委員会(理事長) 18日:しめ縄を作る会(分館)

10日:妻籠観光協会三役会(常務) 12日:妻籠宿案内人の会学習会・昼食会妻籠地域振興協議会役員会(理事 13日:撮影許可審議委員会、繭玉作り(女性部)、広域撮影 15日:県観光機構撮影、テレビ朝日撮影 20日:統制委員会 23日:JBC撮影 25日:広報部会 26日:文化財防火デー(36名参加) 28日:令和4年度第4回観光地点パラメ調査 31日:第6次木曽広域連合広域計画策定会(木曽町・理事長)	長) (観協 , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
統制委員会審議事項 11月21日 ・堰板・堰破風修繕(下町:個人) ・店舗増築工事(中町:個人) ・住宅除去(尾又:個人) ・群状択伐(関電:尾又) ・護床ブロック箇所・堤体エプロン部コンクリー復旧(関電:尾又橋下) ・水槽巡視路手摺修繕工事(関電:尾又) ・ガードレール設置工事(町:大妻籠) ・ユーアイ住宅長坂団地改修工事(町:渡島) ・引込線新設(中電:上在郷、吾妻橋) ・共同支線防護管の新設(中電:尾又橋) ・配電線設備の保安伐採(中電:下町)	11111111111111111111111111111111111111
<ul> <li>記電線及補の体気はが、(中電: 下副)</li> <li>[その他]</li> <li>・町営第1駐車場土手防護柵取付(12月予定)</li> <li>12月20日</li> <li>・引込線新設(中電:上在郷)</li> <li>・コンクリート舗装(下町:個人)</li> </ul>	1件 1件
1月20日 · 土蔵下屋修理工事(上町:個人)	1件

1月20日	
・土蔵下屋修理工事(上町:個人)	1件
・樹木倒壊防護装置除却 (関電:下り谷)	1件
・道路側溝修繕(町:上町)	1件
[その他]	

·馬籠峠倒木処理(町教委)

#### 【統制委員会からのお知らせ】

重伝建地区内で家屋の修繕等行うときには、事 前に統制委員会への届出が必要となります。申請 用紙は愛する会にあります。

また、補助金が出る場合もありますので、町教 育委員会又は愛する会事務局にご相談ください。

発行:公益財団法人妻籠を愛する会 〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻2159-2 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

景観保持のため、宿場内での路上駐車は やめましょう!

20日:統制委員会、令和5年度地域発元気

づくり支援金事業説明会

1月 4日:新春放談会(14名)、第17回狼煙

5日:夜回り開始(~3月2日)、三役会

あげ(14か所・187名)、広域撮影

21日:広報部会

28日:事務所仕事納

26日:撮影許可審議委員会

6日:撮影許可審議委員会

# 木曽谷新春狼煙あげ 2023年1月4日10時30分

# (一社) 南木曽町観光協会 村山 竜也

令和5年1月4日、新春恒例の木曽谷狼煙あげに参加させていただきました。

私は今回、三留野にある愛宕山城址へお邪魔しました。朝9時過ぎから登りはじめ、そこから皆さんと狼煙をあげる準備を始めます。当日の天気は快晴でしたが、山の上の寒さは厳しく、暖をとりつつ火を焚きました。他会場でも同様かと思いますが、そうして地域住民で正月に顔を合わせ、一緒に談笑しながら作業を進めるのは非常に楽しく、意義のあるイベントだなと感じます。

愛宕山から上る狼煙ですが、風の通り道がうまく出来てしまっており、うまく真上に上がらず流されていきます。煙突のドラム缶を一段下げて短くしてみたり、煙の量を調節してみたりしますが、なかなかうまくいかない。しかし、色々工夫をしながらああでもないこうでもない、と作業をしているのもなんだか楽しげで、愛宕山での狼煙あげらしかったのかもしれません。

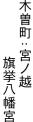
今年は非常に貴重な体験をさせていただきました。今後も各地域で、狼煙あげが毎年無事に開催できますように。

南木曽町:愛宕山





南木曽町:妻籠城址





# 大桑村観光協会 事務局 下 島 悠

大桑村では例年同様3地区で狼煙あげが行われました。

平和公園では私が到着した時には既に皆さんが網焼きなどをしながら談笑していました。村長、観光協会長のお話の後カウントダウンが始まり、ゼロのかけ声とともに皆さん一斉に杉を投げ込むと、たちまち狼煙があがりました。青々とした空に白い狼煙が良く映え、他地区の狼煙も見ることができました。地域おこし協力隊の方も参加しており、地域住民の方々と談笑している光景に胸が暖かくなりました。地域行事であると同時に交流の場としても素晴らしいイベントになっていると思います。

また人手不足が深刻な昨今においても、狼煙あげが例年通り実施できたことは、ひとえに地域の方々の想いと協力があってこそだと感じました。私自身は初参加でしたが、これからも地域行事の一助になりたいと思いました。



大桑村:和村





塩尻市: 奈良井丸山公園

南木曽町: 馬籠峠頂上